

第1回委員会意見への対応

資料1

No.	意見	対 応	対応資料名
1	平田地域は勾配が無く、流れにくい。また地盤が非常に軟弱である。そのような特徴をしっかりと認識して河川整備に取り組んでほしい。また、斐伊川からの伏流水があることで、平田地域の基幹産業が成り立っていることを計画に付け加えて欲しい	本文に追記 【議事(3)で説明】	【資料-3】P1 【資料-4】P3,12
2	平成24、25、26年の雲洲平田船川の水質調査結果が分かれば教えて欲しい。	H25、26年度に水質浄化剤(バクチャーパウダー)散布、炭素繊維設置。 【効果検証】 ○水質浄化剤散布…明確な効果なし ○炭素繊維設置…上流からの水草やゴミ等が大量に付着し、水の流れを阻害したため撤去。ゴミ等は撤去できるが、定期的な撤去が必要であり、維持管理面での負担が大きい	-
3	平成24年頃から現在まで、下水道接続率はどれくらい上がっているのか。	H28.10時点で戸ベースで82.7%、人口ベースで88.5%	-
4	雲洲平田船川では川に近づけるよう「掛け出し」があるが、川の水が汚いため観光客に紹介できない状況である。川のヘドロの浚渫も行ってほしい。今後30年間の計画となるため、もう少し長い目で見て環境に関することを追加して欲しい。	雲洲平田船川河川環境整備計画策定について本文に追記 【議事(3)で説明】	【資料-3】P1,2 【資料-4】P13,32 【資料-6】
5	川の周辺を散歩する際に、車いす用の緩いスロープを設けたり、橋の勾配に配慮したり、福祉の視点からも考えてもらいたい。広場でなくても、ちょっとした土手があれば子供は遊べるが、石があったり草で側溝が見えなくなっていたりすると危ないので、そういったことにも注意して計画してほしい。	湯谷川の糸川屋橋付近の事例について追記 【議事(3)で説明】	【資料-3】P2,3 【資料-4】P21,37
6	糸川屋橋付近のポストは移転するのか。住民に親しまれている景観であり、少しでも以前の景観を取り戻せないか。	現在、街路事業で撤去しているが、今後、郵便局と関係自治会とで、再設置する計画となっている。 既存のポストは郵便局で保管されている。	-
7	リーフレットの川の色を変えて、どこからどこまでが河川が分かるように工夫して欲しい。合流点の写真を付けた方が分かりやすい。	河川の色を変更。 合流点の写真を追加すると写真が多くなり、見にくくなるため、追加は無し。 掲載する写真は主要地点のみとしている。委員会時には写真の位置が分かりにくかったため、位置が分かるようにした。	-
8	住民意見聴取について、何を知りたいのが明確にしてほしい。結果をどのように分析するか教えてほしい。	アンケートの最初に住民意見聴取の目的を追加。 質問については、本文に対応しており、意見を聞いた上で、必要な部分を反映させている	-
9	アンケートは誰もが答えられるような選択肢が必要。『Q2身近に感じている川を選んでください。』は『川を身近に感じていない』の回答が必要ではないか。	Q2の回答に『身近に感じている川が無い』を追加	-
10	現行の計画がどのように変わったかをリーフレットに書いた方が良い。 防災の設問のうち、「防災・災害情報の入手について」は別の防災計画で既に行っているため、このアンケートで聞かなくても良いと思う。	情報量が膨大になり、変更後の計画が伝わりにくくなる可能性があるため、現行計画についてリーフレットには記載しない。今回変更が必要な理由をアンケートに追加。 防災等に関する事項について見直し。『災害の発生に備え、日頃準備していること』『災害時に迅速な行動を行うためには』を削除。「防災・災害情報の入手について」は世代毎等での傾向がつかめるので残す。	【資料-2】
11	自己流氾濫、背水氾濫の意味が分からない。子供でも分かるような表現して、図などはいらぬのでは。	表現を変更。図は残すが伝わりやすいよう変更。	-
12	学生や一般住民に聞くならば、言葉の意味が分かるように工夫した方が良い。		-